

大波小波

奄美の多様性写す

奄美の里（鹿児島市南栄1丁目）は「奄美・沖縄」の世界自然遺産登録を記念し、奄美大島在住の写真家・浜田太さん（68）の作品展を開催している。写真。11月30日まで。

国指定特別天然記念物のアマミノクロウサギをはじめ、アマミリンドウなどの植物、金作原原生林など自然風

景を収めた30枚。同施設を運営するアーダンは「奄美に行ってみて」という気持ちになっ

てもらえれば」と話した。

アマミノクロウサギが切り株に前足をかけてカメラを見ている



写真は、浜田さんが約5年間同じ場所で撮り続けてきた中で生まれた1枚。

「林道から見える姿でなく、奄美の自然の真の姿や多様性を知ってほしい」と見どころを語った。